

「茨城県シルバーリハビリ体操指導士連合会」の活動が内閣府の紹介する平成 29 年度 「エイジレス/ライフ実践事例および社会参加活動事例」に選定されました！！

内閣府では、高齢者が年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由でいきいきとした生活を送る（以下「エイジレス・ライフ」という）事例および高齢者がグループ等で就業、地域社会活動、世代間交流といった社会活動（以下「社会参加活動」という。）を積極的に行っている事例を広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の生活の参考となることを趣旨として紹介しています。

平成 29 年度の「社会活動事例」に「茨城県シルバーリハビリ体操指導士連合会」の活動が選定され、平成 29 年 9 月 25 日に茨城県木庭保健福祉部長から【社会参加章】を章する書状と楯が授与されました。

活動内容（内閣府 <http://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/h29ageless/jirei.html>）

平成 17 年度から茨城県が養成を始めた「シルバーリハビリ体操指導士」により組織された会である。近年は、体操指導の平準化や介護予防の知識の向上を目的としたフォローアップ研修を行うなど、全県的な活動を行っている。

また、平成 27 年 9 月の「関東東北豪雨災害」の際は、約 2 か月にわたり避難所で体操の指導を行った。



木庭保健福祉部長と連合会役員の皆様

